

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和2年 1月 13日 (19:00~21:00)
------------------	-------------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー 下澤、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、三浦、織蓑、中山、王丸
-------------------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	13人	1人	0人	16人

前回の改善計画	<p>*初期支援の段階では全スタッフがサービスに関わるべきであると考え、初期の段階では集中的にその方への時間を作り、常勤非常勤問わずサービスに一度は関わる様にする。</p> <p>*初期支援の質をより高めるため、初期支援ノートを発展させ個別での記入様式に変更し、より詳細な情報を書き込める様にする。またそれを活用し、より良いサービスへ繋げられる様にする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>①初期支援ノートへの記載はよくできていると思う。利用者の気持ちの変化なども詳細に記載されている。また、それを次のケアに活かしている。</p> <p>②「その人を支援しよう」というスタッフ全体の視点は養われてきている。</p> <p>③初日から1から2週間は連絡ノートに細かく入力するがだんだんと定型文になってしまいます。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1人	12人	3人	0人	16人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1人	14人	1人	0人	16人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	6人	7人	3人	0人	16人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	7人	7人	0人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①①利用者が好きなこと、趣味等情報収集し、それを取り入れ孤立しない様努めている。 ①②利用開始前にスタッフミーティングや個人情報記録でサービス内容を理解し、その方にあったケアに心がけている。 ③スタッフ間でサービス利用時の様子をよく話し合い、情報共有ができる ③お話をじっくり伺える様になった。初期支援の際は特に気にかけている。 ③④不安を軽減するためにできる限りコミュニケーションを大事にしています。 ④家族についても対応してきたスタッフがきちんと報告し情報共有ができる。小さな依頼に対しても見落とさぬ様心がけて対応できた	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①業務の都合上朝の申し送りに参加できないことがある。 ①正確にスタッフへ伝えられる表現や技術に自信がない。 ①情報などは収集しているが、実行にあたるまでの勤務回数や時間があわないこともありますうまくいっていない ①②事前ミーティングの時間は取れず情報収集のみになっている。情報収集の内容にスタッフ間で差がありコミュニケーション不足によりケアが適切にできていない。 ②本人との会話では表面的な話で本心や主訴などの情報が収集できていない。 ②週数回の勤務では申し送りの情報量が多く、十分に把握できないことがある。事故につながったケースもある。 ②③④訪問いけるタイミングが勤務形態と会わず、数回しかいったことがない方に関しては、すぐにサービス支援に入れないとある。 ④まだ初期支援の段階で不安を受け止めたり、希望を叶えるまでは至っていない。自分なりの声かけや努力はしているが。 ④家族と会う機会が少なく、ご家族からの聞き取りは管理者を通しての情報がメインになっているため不安の聴取や関係づくりが希薄。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
*初期支援のケアの関わりは全体を通してまだまだ希薄である。初めてここに来られる利用者や初めて自宅へ他人をお招きする利用者は不安と混乱でいっぱいです。まずは少しでも安心していただける様、それぞれがもっと関わることを意識し、事前に分かっている情報のほかでも新たに知り得たその方の情報は、即時的に初期支援ノートに記載し、スタッフ間で情報の共有を行いサービス開始直後の関わりの強化を目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 2年 1月 13日 (19:00~21:00)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	下澤、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、三浦、織蓑、中山、王丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	13人	3人	0人	16人

前回の改善計画	*日常の中で丁寧に声を拾い、まずは目の前の～したいを実現できる様に努力していく。スタッフ一人が背負うのではなく、情報を共有し、なるべく時間をかけず実現するためにはどうするのかを考える意識を持つこと。他スタッフを頼りお願いできる、任せられる環境であること。
前回の改善計画に対する取組み結果	①利用者ご本人からの「～したい」との声を聞いた時はすぐに対応する様心がけている。 ②他スタッフに相談ができなかった。自分で抱えてしまつたため実現まで時間がかかってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0人	9人	7人	0人	16人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？	0人	15人	1人	0人	16人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができますか？	0人	12人	4人	0人	16人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0人	9人	6人	1人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	①ケアプランを通して当面のゴールは理解できていると思う。 ②ケアの中で利用者の話を丁寧に聴きニーズを見つける様にしている。 ②③日々の生活中で小さなことでもなるべく拾う様にし、実現することで利用者の笑顔を引き出せていると思う。 ②今までやってきたことをまだやりたいという気持ちには答えられていると思う。 ③聞き取った願いを他のスタッフへも発信することができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	①ゴールを理解はしているが、自立を促すのではなく、介助てしまっていることが多い。 ②直接声にできない方の「～したい」をまだまだ引き出せていない。できているスタッフとそうでないスタッフがいる。 ②③利用者個人の向き合えていないため個々の「～したい」の声を拾うことができないし把握することもできていない。 ②③本人の～したいを聞いて全員の～したいを実現することはできなかった。 ③日々の業務に追われ、できていないことが多い。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
*スタッフ全体で日々の「～したい」の聞き取りや実現は共有できているが、ケアプランを通した当面の遠い目標を理解できているスタッフが少ない。再確認も含めスタッフは必ずケアプランに目を通し、在宅生活を継続する上で、何を目標としてケアをしていくかをスタッフ間で統一認識できる様にし、その方のゴールに向かって方向性のばらつきがないようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 2 年 1 月 13 日 (19 : 00~21 : 00)
-----	-----------------------------------

3. 日常生活の支援

メンバー	下澤、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、三浦、織炎、中山、王丸
------	-------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	10人	5人	1人	16人

前回の改善計画	*ミーティングに上がった議題をスタッフが継続的にモニタリングし、実践するだけでなく、評価や振り返りを行いミーティングの場で共有できる様にする（一つの議題に対して点で見るのではなく、経過を追い線で捉える様にするため）
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>①申し送りノート、ケア日報を利用して継続的に共有できている。</p> <p>②気付いたことは小さなことでも発信し、ミーティングで繰り返し伝えている</p> <p>③周りからの情報に頼ってしまい、自分からの発信は少なかった。</p> <p>④ミーティングで振り返りができていないためモニタリングにつながっていない。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人數)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0人	3人	12人	1人	16人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか？	3人	13人	0人	0人	16人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならないう音をチームで言語化できますか？	2人	8人	5人	1人	16人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3人	11人	2人	0人	16人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できますか？	2人	10人	4人	0人	16人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>②基礎的な介護技術はできていると思う。</p> <p>④⑤言動や仕草等で小さな変化にも気づける様努力しているし、スタッフ間でも共有できていると思う。必要に応じて看護師にも報告ができる。</p> <p>④バイタル測定、申し送りをきちんと行き状態の変化等を翌日以降にも繋げられる様、ノートを活用し共有できている。</p> <p>⑤情報をキャッチした時や気付いた時はなるべく寄り添う様に心がけ対応している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①自分が関わりの少ない方に関しては生活の状況や情報が乏しい。</p> <p>①以前の暮らしを 10 個以上は把握できていない。できている方もいるが全員ではない。以前の暮らしぶりを意識する機会があまりない。</p> <p>④本人の異変に気付いても他スタッフとの連携が十分にできていない。申し送りができていても翌日には途切れてしまうことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>*以前の暮らし方や、趣味、人間関係など日頃のコミュニケーションや訪問時にふと気がついたことなど、本人の情報を知る機会が多いが、情報の共有ができず、スタッフ個人で持っているその方の情報には偏りがある。もっと簡易的に気軽に情報発信ができるよう、サービス個人ファイルに人物像の用紙を追加し（センター方式）スタッフが日頃知り得た情報を気軽に書き込めるようにし、見る側も視覚的、作業的にも簡単にアクセスできるようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和2年 1月13日 (19:00~21:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー 下澤、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、三浦、織蓑、中山、王丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	9人	0人	16人

前回の改善計画	
*ゲストの今までの地域での暮らしを支えるため、日頃のサービスの中で地域の社会資源やご近所との関係性、ご家族との関係性などそれぞれが情報を収集し、個人ファイルへストックし情報を共有していく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
①利用者が自宅で長く生活できる様、今までの生活や関係性など断ち切ることなく支援に活かすことができている。 ②個人ファイル虎の巻を活用できている。情報を更新できている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1人	12人	3人	0人	16人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0人	8人	7人	1人	16人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	11人	3人	2人	16人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0人	4人	8人	4人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①③利用者が通い出ない日も含めどの様な生活を送っているか把握し、サービスに反映させている。 ①②個人ファイルを参考にして情報収集し、利用者と関わりを持ち聞き出している。 ①②利用者の住んでいる地域のご近所さんには積極的に挨拶をする様にしている。 ②馴染みのご近所様と本人を交え雑談をすることがある。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①個人情報ファイルなどをあまり詳細に確認できていない。 ②核家族化の進みもあり、利用者の生活の支援を事業所が多く占めていて、家族や地域などの協力が得られないのが現状である。 ②本人と家族との関係性を十分に理解できていない。 ④民生委員や地域資源は関わることが今までにならない。 ②③④決められたサービス以外はできていない。 ②④家族との関係性がいい方は、ご家族に頼ってしまっている。 ②近くのイベントに車椅子の方といったがあまり歓迎されていない様子なのでホームに戻ってしまった。 ④地域資源を活用し利用者のニーズにあったアプローチができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
*本人がサービスを利用していない日はどのように過ごしているか把握しているスタッフが少なかった。24時間365日切れ目がないサービスを提供できるのが小規模多機能なので、日頃からその方のサービスの利用のない日でもどのように生活しているかなど、生活全体を捉える視点を養うようになる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年1月13日(19:00~21:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	下澤、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、三浦、織袋、中山、王丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	11人	2人	0人	16人

前回の改善計画	
*目標は継続とし、よりきめ細やかな多機能な支援ができる様支援をしていく。定員や範囲が決まっている中でも必要な方に必要な支援を提案できる力を身につける。	
前回の改善計画に対する取組み結果	①小規模多機能サービスはきちんと理解し、柔軟にサービスはできるようになったし、調整もできるようになったが、まだまだ判断に迷うケースがありスタッフ単位の判断ができない時がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0人	7人	8人	1人	16人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5人	9人	2人	0人	16人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3人	9人	3人	1人	16人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	3人	11人	2人	0人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①外出する機会を作り公共施設等利用している。 ②日々身体状況が変わるので体調をみてサービスを決めている。 ②小規模多機能サービスを理解し、ニーズに合わせてサービスの変更は柔軟にできていると思う。 ②日々の利用者数を把握し対応できている。 ③小さなことでも気付いたことは発信し共有している。 ③月に1回のミーティングで検討、共有ができる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①地域資源の活用ができない。 ②決められたサービスとしては提供できているが、柔軟で臨機応変なサービスを求められると判断に苦慮してしまう。 ③気付いていてもどの様に自分で処理したら良いのか戸惑ってしまうことがある。ミーティング等でも自分から声を出して伝えることができない。 ③ミーティング等で細やかな気づき等は意見として上がるが、日々のケース記録に残っていないことが多い。 ③変化の気づきにまだ敏感ではない。他の職員からの情報でわかることが多い。 ③本人の変化に即時気付いていない時がある。また、情報の共有ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・本人の新たな課題や変化は必ずミーティングの議題に上がってはきていた。ただ、カンファレンスを行い実践項目が決まつても、日々の実践記録が希薄で評価がしにくい。次のミーティングでも評価がなかなか上がっていないのが現状。まずは実践記録を簡潔に確実に行い、ミーティング時には必ずモニタリングができるようにし、本人の新たな課題や変化に対応できるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和2年 1月13日 (19:00~21:00)
6. 連携・協働	メンバー 下澤、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、三浦、織糸、中山、王丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	6人	0人	16人

前回の改善計画	<p>*サービス担当者会議の理解が少ないため、フロア会議等で理解を深める時間を作る。</p> <p>*ゲストと一緒に外へ出かける機会をもっと増やす。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>①ミーティングを通してサービス担当者会議についての具体的な勉強会はできなかったが、仕組みについては話す機会があった。</p> <p>②利用者の外出は意識できている。天気やフロアの状況が大丈夫な時は外出を心がけている。</p> <p>③利用者との対応が1:1になってきている現状もあり連携と言われても難しく感じる。</p> <p>④外出支援をしようとしても利用者の意欲が低下していることもあり、意欲を引き出すのも難しい。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1人	4人	2人	9人	16人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1人	2人	3人	10人	16人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1人	7人	1人	7人	16人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1人	7人	3人	5人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①各サービス期間と情報を共有している。 ③事業所として地域の行事や活動には参加できていると思う。 ③消防訓練に参加できている。 ④決まった方の来訪にとどまっているがイベント時には地域の方々が年々増えてきているとお思う。 ④ご近所の方やボランティアさんなど日常的に来訪があり、利用者とお話しをされたり、活動にも参加されています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①施設外での会議には参加できていない。 ②参加する機会が少ない。 ③地域のイベントには参加しているが年に数回程度になっている。 ①②参加する立場にいない。会議があることを知らない。 ④子供の来訪が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
※今年度に引き続き次年度は流しそうめんや餅つき大会など自治会と共催できるイベントは力を入れてやっていきたい。今年度は集客数がとても多かったのでこのイベントを通して自治会活動の活発化や地域の関係性の発展に繋げていきたいと考えます。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和2年 1月13日 (19:00~21:00)
7. 運営	メンバー 下澤、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、三浦、織穂、中山、王丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	9人	5人	0人	16人

前回の改善計画	*月単位目標は毎月更新し、みんなで確認できているで、きちんとフロア会議で評価し、次の実践へ繋げられる様にしていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>①月単位の目標はきちんと更新できている。実践もできている。</p> <p>②毎月議案書を提出するときに先月の月目標を自己評価し次月の目標を書き出している。</p> <p>③ホワイトボードを活用し、目に入ることで意識向上につながっている。</p> <p>④毎月評価はなんとかしているが、実践となると現状の現場では難しい事がある。</p> <p>⑤月目標が具体的ではない事が多く実行に中々繋がらない。スタッフの理解度も低く、評価まで繋がらない。</p> <p>⑥その月によって目標ができていなかった時もある。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1人	6人	7人	2人	16人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4人	8人	4人	0人	16人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3人	7人	3人	3人	16人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2人	9人	1人	4人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>②苦情があった場合は上長へ報告し、真摯に受け止めスタッフ間でも共有し対応できている。</p> <p>④自治会と協力をして行事活動を行なっている。参加も年々増えていると思う。利用者を連れて積極的に参加している。</p> <p>④毎月清掃活動を行なっており、地域の美化に努めている。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>①運営には関わっていない。職員として意見が言えない。言う機会がない。言う立場ではない。</p> <p>③地域の方からの苦情を耳にする機会が少ない。</p> <p>③④地域に関わることをしていない。事業所外での交流が少ない。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	*月目標は毎月必ず更新しているが実践にはスタッフ間にばらつきがある。今まで手書きで記入していたが、全体的に小さく、分かりにくいため、A4サイズでフロアに掲示し視覚的にもスタッフ間で意識できるようにし、実践を行い次回会議で評価を必ず行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年1月13日(19:00~21:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	下澤、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、三浦、織袋、中山、王丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	10人	5人	0人	1人	16人

前回の改善計画	*事故後のショートカンファレンスは継続的に行い、当日勤務者での周知検討は行っていく。合わせて全スタッフが事故内容を把握できる様、発生後2~3日以内には全スタッフへメールで事故内容を配信しお知らせする様にする。結果、会議内で意見交換ができる様にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	①ショートカンファレンスは継続してできている。休日でもメールは届くので内容を知る事ができているし、危機感を持つ様にしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3人	8人	2人	3人	16人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2人	6人	2人	6人	16人
③	地域連絡会に参加していますか	0人	1人	1人	14人	16人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1人	8人	3人	4人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	①2ヶ月に1回の職場内研修はほとんど参加する事ができた。外部の研修にも積極的に参加する様心がけている。あるいは参加できている。 ②施設内研修には時間的に参加できないため、研修報告書などを読んで知識の向上に努める。また、自分で研修テーマ(年間)に沿って自習する様に努めている。 ③管理者が参加している。 ④予測されるリスクに予防的に対応はできている。危険と同じことは小さなことでも発信し、共有する様にしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	①職場内研修にはいろんな理由で参加できていない。 ②資格取得やスキルアップの研修などには率先しての参加はできていない。スキルアップには消極的である。年齢的なことや家庭の事情もあって、決まったスタッフのみになっている。 ③地域連絡会には参加できていない。社員の方が参加しているので、後日お話を伺っている。 ④事故の対策は立てても、薬や訪問忘れなど同じミスが多かった。 ⑤知識が足りなく、先人の知恵を借りている事が多くある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	*今年度より事故が発生した場合はその日いるスタッフでまずはショートカンファレンスを開催することと、メールで全スタッフへ事故の内容を配信することを行ってきた。フロア会議ではそのメールをもとに事故の対応策等の検討を行ってきたが、時間がなく有意義な意見交換ができていない。次年度はメールで事前に受け取ったメールに対し、個々で対応策や解決案を考え、フロア会議前の議案書に記載することでフロア会議により効率的に対応策を検討できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和2年1月13日(19:00~21:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	下澤、川口、保田、内田、喜納、鈴木、武井、出海、三浦、織袋、中山、王丸

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	9人	3人	0人	16人

前回の改善計画	*個人情報保護マニュアルとは別にプライバシー保護マニュアルを作成し、スタッフ間でルール化することでより適切なプライバシー保護の視点を身につける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>①利用者さんの名前を出さずにいないところで話し合っている。</p> <p>②意識の統一ができていないため、個人情報保護の視点がスタッフによってはまだ差がある。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11人	4人	1人	0人	16人
②	虐待は行われていない	15人	1人	0人	0人	16人
③	プライバシーが守られている	7人	7人	1人	1人	16人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7人	5人	0人	4人	16人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6人	9人	1人	0人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>①行動に危険が伴う利用者さんを制したことなく、見守りながらケアができた。</p> <p>①②③いつも良く出来ている。</p> <p>①②見たことも聞いたこともないです。身体拘束、虐待は行っていない。</p> <p>③本人の希望を尊重し、同性介護が必要な方はその様に対応している。</p> <p>③色々と良く出来ている点が多いと思います。</p> <p>③小さな声で話し合っている。</p>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>①身体拘束まではいかないが「ここに座ってて」を良く耳にする事がある。</p> <p>②小声ではあるが利用者の近くで、申し送りをしているので、他の利用者さんの耳にも</p> <p>③時折大きな声になり、話の途中で気づくこともある。</p> <p>③入浴時脱衣所のカーテンを閉めず浴室まで丸見えのことがあった。</p> <p>③トイレに入っているのを気づかず、開けてしまうことが度々あった。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>*「ここで待っててください」など声かけ一つとっても身体拘束になり得る可能性があることや、日々の業務のなかでお互いが見落としているか心配な声がスタッフから上がった。次年度は権利擁護委員会（虐待防止、身体拘束ゼロ、プライバシー保護）を発足し、日頃のケアの事例検討や継続的にスタッフが意識できるよう勉強会の開催や検討報告を行っていく。委員の選出はGHも含め各フロア代表1名、委員長はホームマネージャーとする。定期的な委員会の開催およびスタッフからの相談役としての機能を持たせる。</p>	

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適當と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適當と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になつても、介護が必要となつても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願ひします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか? ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）			
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか? ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい			
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？			

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？			
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？			
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？			
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？			

C. 事業所と地域のかかわり (該当部分に✓を入れてください)

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】			
1	職員はあいさつできていますか?			
2	事業所は、地域の方に知られていますか?			
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか?			
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか?			

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み (該当部分に✓を入れてください)

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか?			
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか?			
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか?			
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか?			

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？			
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？			
3	運営推進会議では、地域での取組みと一緒に取組もうとしていますか？			
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？			

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？			
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？			
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？			
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？			

以上で終了です。ありがとうございました。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5	1	
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	6		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	4		2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

*昨年度より各フロアから1名～2名選出された環境委員を発足しています。この環境委員を中心として施設内外の環境整備、花壇やプランターの植え替えなどを行い、気持ちの良い空間づくりを継続して行っています。また、月2回利用者と行っている町内の清掃活動も継続して行っています。

*日中は玄関の施錠はせず、見守りを行いながら利用者の安全確保に努める。それに伴い地域に解放された暖かい空間づくりを目指します。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

【今回の改善計画】※後日記入

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		1
1	職員はあいさつできていますか？	6		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2		4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

*毎年自治会の行事やイベントごとにはスタッフ、利用者共々参加させていただいています。今年度も積極的に地域行事へ参加できるようにします。また、ヴィラ愛成で行っているイベントや行事などにもたくさんご来所頂けるよう広く広報し、地域の皆様との親睦をより深めたいと思います。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

*昨年度に比べ、その方が住まわれている地域の方や場所との関わりを少しづつですがスタッフ単位で行えています。今年度も支援の範囲を自宅とヴィラ愛成だけにとどめることなく、その方の生活圏域として捉え、実践できるようにする。

例) その方の行きつけだった美容院へ行けるようとする。

例) 長年お付き合いのある友達と病気になってもお茶しに行っておしゃべりを楽しみたい。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3	1	2
3	運営推進会議では、地域での取組みと一緒に取組もうとしていますか？	6		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

*少しずつスタッフの参加ができるようになってきましたが、全てではないので、今年度は年6回の運営推進会議でスタッフ1名以上の参加を促し、意見交換の場としていきます。今まででは管理者メインで行ってきましたが、スタッフにもより身近なものとして周知できるようにします。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わから ない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	5		1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	5		1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4	2	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

*年2回の防災訓練は毎年夜間を想定しスタッフ、自治会の方、消防の立会いのもと行っています。色々なケースを想定して行っていますが、今年度は利用者の安全を確保しながら、実際に擬似煙幕を用意したり、暗くしてより夜間に近づけたりと、実践に即した形で実施していくこうと思います。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人愛成会	代表者	平本 敏	法人・事業所の特徴	実際はスタッフが共有して実践できるよう心がけています。また利用者の「生きる意欲や喜び」を育むとともに、地域密着型サービスを提供する事業所としてご家族、地域の方たに愛され、信頼される施設作りの為、地域の情掃活動や自衛会活動への参加など様々な取り組みを行っています。
事業所名	ヴィラ愛成	管理者	下澤 貴道		
出席者	市町村職員 1人	知見を有するもの 人	地域住民・地域団体 2人	利用者 人	利用者家族 1人
項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画	今回の改善計画に対する取組み・結果
A. 事業所自己評価の確認	昨年度同様、事業所自己評価9つの中の分野の改善目標は年間を通しての実践的な年間ではなく日々の業務の中にも現れていたが、それぞれが目標として記入できるよう年間目標のモニタリングシートを作成し、定期的に実践的評価を行っており、回数は月次である。(リーダーが取りまとめる)	・実際はスタッフの欠員などもあり、モニタリングシートは作成したが、事業所自己評価の見直しは出来なかつた。例年通りの評価が進まないよう、定期的に評価結果に記入できるよう年間目標のモニタリングシートを作成し、定期的に実践的評価を行つておられる。(リーダーが取りまとめる)	・大変な作業だと思う。パートさんや、主婦の方なども全員参加しているので職員会議になつてはいると思う。改善に計画も既に達成できていることが多いと思う。	・職員会議は毎月開催する時間で時間を取らなければいけないため、引き続き常勤職員メインでの評価会議を行なつていく。時間の調整が難しいペースで時間に割かれてしまう場合は、管理部およびプロアドバイザーが事前に個別で時間を取らるよう、意見を聽取していく。	・職員会議は行なわず、職員の見守りを強化していく。その他、CCT(録画・ナーサー)や解説センサー、GPSなど子供の監視を行なう。子供の監視ができるように(プロアドバイザー)支障前の駐車場スペースは、四季折々の花や野菜などを増やし、利活用や地域の方が楽しめるよう継続して行なつてい。・責任や施設規則では、荷物が増えているので、徐々に整理をしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・昨年度より各プロアから1名～2名選出された環境委員を中心にお花の植え替えなどを実施しています。この環境委員を中心として施設内外の環境整備、花壇やプランターの植え替えなどを実施し、お天気の良い日に月2回、小川を継続して行なっています。また、月2回運動の日中は歩道の沿線活動等で実践して行なっています。	・事業所周辺の環境づくりは環境委員を中心にお花の植え替えなどを実施している。月2回の清掃活動も、天気の関係で毎月固定ではなく天気のいい日に月2回実施している。期間中、小川を継続して行なっている。また、月2回運動の日中は歩道の沿線活動等で実践して行なっています。	・やはり趣はかけない方がいいと思う。職員の方も大変だと思うが、良い家庭の延長といいう考え方で、難儀に配慮し、販売を行うのが良いと思います。ただ、車がくくると追いかけてしまう方や、職員が走り出してしまう方も多いので、安全に注意しているようにおしゃれた方が良い。	・今年度も地域行事には利用者と一緒に参加させていく。日頃より地域の方とのつながりを大切にしているので、引き続き信頼関係を築いていきたい。	・今年度も地域行事には利用者と一緒に積極的に参加させていただく。日頃より地域の方とのつながりを大切にしているので、介護の相談を広げてきました。日頃から関わりを持つ中でも、もし、お困りごとがある方がいらっしゃれば、遠慮なく地域包括支援センターに難いです。
C. 事業所と地域のかかわり	・毎年自治会のイベントごとにまずはスタッフ利用者が参加させています。今年度も積極的に利用者様と参加することが出来た。また、事業所主催のイベントでは、各方面へ広く伝報することもでき、たくさんのお客様を集めることが可能になりました。夏の施設開放でいたくさんの方々が来所された時には、自治会活動として広く交流を持つ良い機会となりました。	・今年度も自治会、地域の行事には積極的に利用者様と参加することが出来た。また、事業所主催のイベントでは、各方面へ広く伝報することもでき、たくさんのお客様を集めることが可能になりました。夏の施設開放でいたくさんの方々が来所された時には、自治会活動として広く交流を持つ良い機会となりました。	・地域の方々には事業所はまだよく知られていないと思います。イベントを開催してもたくさんの方々が参加しています。地域の方々と関わることで、もっと多くの人が安心して、地域も安心して暮らせるかと思いますので、引き続き信頼関係をより深めたいと思います。	・その方の住んでいる地域での支援活動も年々増えてきており、事業所でつながりのある方への事業所の開拓も大きく増えてきています。配達員に対して職員にかかる負担は増えます。事業所のサービス満足度は上がっています。次年度もこの方の住んでいる地域での生活が充実できるよう、職員全体制で協力していきたい。	・地域の方々には事業所はまだよく知られていないと思います。イベントを開催してもたくさんの方が参加しています。地域の人と付き合いがないとそもそも情報は入ってこない。地域のつながりを深めることは限界があるので、事業所ができるところには限界があります。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・昨年に比べ、そのかたが住まわれている地域の方や場所とのつながりを少しすてて今はスタッフ専用であり、地域で支援を少しだけだけではなく、その支援を自分でできる限り関わっていくことなく、その方の生活圏として提え実践できるようになります。例) その方の行き合ひがあったとき美容院へ行くようにする。例) 長年おしゃべりを楽しみたい。	・できる限り、その方の生活活動を知り、地域で支援を支援できる。ただし、スタッフの人員の確保はまだ、どこまでできる限りはあります。今年度も積極的に自分自身だけではなく、他の人や団体と一緒に買い物へ出かけたりと、通いサービスではここでの施設内だけではこどもまなすサービスの参加があり、自治会活動として広く交流を持つ良い機会となりました。	・利用者以外のご近所の心配な方への事業所の開拓は守秘義務などはないが、本人が言わない限り開拓していくべき事は難しいのではないか?。近所の人と付き合いがないとそもそも情報は入ってこない。顔の見える関係があれば弊がったケースはあるが、地域性もあるので、事業所ができるところには限界があります。	・その方の住んでいる地域での支援活動も年々増えてきており、事業所でつながりのある方への事業所の開拓も大きく増えてきます。配達員に対して職員にかかる負担は増えます。事業所のサービス満足度は上がっています。次年度もこの方の住んでいる地域での生活が充実できるよう、職員全体制で協力していきたい。	・地域の方々には事業所はまだよく知られていないと思います。他の事業所では自治会の行事やイベントなどの検討や応援団などこの運営推進会議を利用していくが、年々参加者が少なくなってきたため、GHも含めて引き続き参加できるよう、シフト作成の段階から調整しておくようになります。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・少しすてスタッフの参加ができるようになつてきましたが、開催を少しすてます。今年度は自宅でダブル愛成だけになるとどうなるかとあります。そのための会議は実施できません。今まででは管理部で行っていましたが、スタッフにもより身近なものとして周知できるようになります。	・年間を通して6回(1回／2ヶ月)開催しているが、人員配置の関係で全てではないので、今後は年6回の運営推進会議でスタッフ1名の参加を促し、意見交換の場としていつでもあります。私は管理者として行なっていましたが、スタッフにもより身近なものとして周知できるようになります。	・きちんと2回の防災訓練は実施できましたが、当日の天候が雨で避難を利用しての訓練を予定していたが、当日の天候が雨であり、通常の夜間想定のみ訓練になつた。次年度への引き継ぎ課題となる。	・きちんと2回の防災訓練は実施できましたが、類似訓練を利用しての要請をいたしています。実際に備えて、ダミー人形を利用して行なう。2階から1階へ避難させる練習をしてもらいたい。	・次年度は今年度できなかった、ダミー人形を利用しての夜間想定訓練を行なつた。ダミー人形を利用した2階への誘導訓練を1回行ないたい。
F. 事業所の防災・災害対策	・年2回の消防訓練は毎年夜間を想定しスタッフ、自衛会の消防の立会いのもど行っています。色々なケースを想定して行なっていますが、今年度は利用者の安全を確保しながら、実際に擬似煙幕を用意したり、普段は実践した形で実施していこうと思います。	・年2回の消防訓練は実施できている。うち1回は夜間想定で消防訓練を利用するので、消防の立会いのもど行なっていますが、今年度は利用者の安全を確保しながら、実際に擬似煙幕を用意したり、普段は実践した形で実施していこうと思います。	・きちんと2回の防災訓練は行なつており、自衛会役員にも参加してもらいたいです。実際に備えて、ダミー人形を利用して行なう。2階から1階へ避難させる練習をしてもらいたい。	・非常駐職の用意はありますか?	・風水害対策訓練は実際にこの場所で想定できる範囲内での訓練で良い。